



広い団地の中をS字に流れるプロムナードは通るたびに、ここ、エルミタージュに住んで良かったと思わずにはいられない美しい道になっています。今は紅葉が盛りでしょうか、ドウダンツツジ、ヤマモミジ、カエデ、ユリノキなどが陽に映えて見事です。プロムナードが終わると、港南台第二小学校と団地の境界の私道です。小学校の正門への道ですから、子ども達が遊びながら通る道です。学校と団地の間の私道はフェンスが垣根になっています。歩く時は、学校の植栽、団地の植栽の両方とも眺められ、楽しめるのです。フェンスにそって、様々な木々、草花が植えてあります。この夏の暑さは大変なものでしたが、木々が木陰を作ってくれています。そして、草花は暑さにじっと耐えながらも、美しい姿を見せてくれました。

それは夏の始めだったでしょうか。たまたま、咲き終わったバラの枝を切り落としておられた先生に夫が会って、私の趣味「バラの挿し木」を思い出して、一枝頂いてきました。私はさっそく枝を、チヨキチヨキと3cmくらいの長さに切って、鉢の土に10本位突き刺しました。ローズマリーの鉢の傍に置いて、害虫予防としました。長い、暑い夏の間、小枝を水だけで生き延びさせてきました。葉が枯れたり、茎が腐ったり、小枝の運命はそれぞれ過酷に過ぎていきましたが、なんとか、3本生き残り、そのうちの1本がどんどん成長し、蕾を二つ付けてくれました。

挿し木のバラの成長を、毎日楽しみに待ってきました。蕾の期間がかなり長かったのですが、11月下旬にようやく咲いてくれました。とても綺麗なピンク色で、小学校にいた時よりも綺麗だと感じます。去年の秋に友人からいただいたバラの挿し木は4月に初めて咲いたので、そのバラを彼女の名前に因んでケイと名付けていました。ケイもオールドローズの種で、ピンク色ですが、葉の形が全然違いますし、花の大きさが違い、花びらの数が違い、それぞれの花びらに透かし彫りのような文様があり、微妙に違います。香の違いは私には区別がつかないのがとても残念です。香の違いを判別する方法や、記録する方法はないのでしょうか。

このバラはエルミタージュの2016年のニューフェイス第2号となりますので、春のバラをK1にし、今回のバラを港南台第二小学校に因んでK2と名付けることにしました。窓辺を飾る四季咲きのバラを愛でながら、深まりゆく秋を満喫しています。

